

17世紀後半の北イタリアで独奏楽器として活躍し始めた  
チェロが、パリでどのように受容され発展してゆくのか・・・  
2挺のバロックチェロでお届けします。



### 高橋弘治 Koji Takahashi

桐朋学園大学音楽学部卒業、ブリュッセル王立音楽院古楽器科修了。2001年から07年まで「ラ・プティット・バンド」のメンバーとして演奏活動を行う。2011年から古楽アンサンブル『ムジカ・レセルヴァータ』中心メンバーとして活発な演奏活動を展開。2018年より20年まで「鶴見de古楽」シリーズにて「J. S. バッハ 無伴奏チェロ組曲」全曲演奏会（全3回）を開催。また藤原歌劇団公演 A.スカルラッティ歌劇「貞節の勝利」、ジョイ・バレエ・ストウーディオ主催J. Ph. ラモーオペラ「プラテ…ジュノンの嫉妬」公演に参加。そのほか最近ではフラウト・トラヴェルソ奏者のJ.de ヴィンネ、バロック・オーボエ奏者のM.ポンセル、歌手のA.ディールティエンス、チェンバロ奏者B.ナーセンス、バロック・ヴァイオリン奏者のD.モンティなど海外アーティストとの共演機会も増えている。

### 富田牧子 Makiko Tomita

バロックと現代のスタイルの楽器にガット（羊腸）弦を張り、楽曲に合わせて持ち替えながら、自然体の音楽と室内楽の楽しさを広める活動をしている。東京芸術大学音楽学部在学中にリサイタルを行い、演奏活動を始める。同学大学院修士課程修了後ハンガリー・ブダペストに留学。ヨーロッパ各地の音楽祭や講習会でソロと室内楽の研鑽を積む。NHK-FM「名曲リサイタル」、ORF(オーストリア放送)の公開録音に出演。弦楽四重奏団メンバーとしての活動を経て、フリーの音楽家としてソロリサイタルや様々な楽器奏者との組み合わせによる「充実した内容の音楽を間近で味わうコンサート」の企画を各地で続けている。2017年パーカッションとのデュオ《羊とヤギ》で CD「O Terra (大地よ)」を発売。2020年長野県に移住、県内での企画・演奏活動、指導も行っている。

〈新型コロナウイルス感染拡大防止対策について〉

- \*当公演は前半、後半とも30分程度のプログラムとし、休憩時間に換気を行います。
- \*お客様間の距離を十分に保つため、定員を70席に限定いたします。
- \*マスクの着用、および入場時の手洗い消毒にご協力をお願いいたします。
- \*咳、発熱、頭痛など体調に異常がある方は、来場をお控えください。

### 会場アクセス

JR大糸線「穂高駅」下車タクシー5分、徒歩25分  
長野自動車道 安曇野インターより約10分

